

台風19号 《支援活動報告》

この度の台風19号により、犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げますと共に、被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。

政府より「激甚災害」と「非常災害」に指定された大規模な豪雨災害。10月12日（土）日本に上陸した台風は、関東地方や甲信地方、東北地方など日本列島を縦断し、各地に甚大な被害をもたらしました。当団体では、被災者救援に向けて10月13日に募金活動を開始いたしました。



◆先遣隊第一報【静岡県】10月13～14日、過去に協働活動の経験のある「静岡大学学生防災ネットワーク」と合流して、静岡県内を調査。10月13日午前11時の時点では、長野県内ではまだ救助活動が継続している最中で、被害の全体像が徐々に明らかになっている状況でした。社協によると、200戸が被災し、近くに災害ボラセンを設置するとの情報。

◆先遣隊第二報【長野県】10月16～17日の日程で、千曲川の氾濫で甚大な浸水被害が出ている長野市にも先遣隊を派遣しました。まずは地元の関係者から被災状況についての情報収集を行い、協定を結んでいる大阪大学の稲場先生とも合流し、約700世帯の被害が出ている豊野地区で避難所になっている小学校や公民館、千曲川の決壊現場である穂保地区の周辺などを中心に被災地をまわりました。

◆支援活動【福島県本宮市】10月18日、福島県本宮市を訪問。本宮市は一級河川の阿武隈川のみでなくその支流の安達太良川の両方から街の中心部に水が流れ込み、被害は広範囲に及び、街の至るところに災害廃棄物が山積みになっている状態。泥から舞い上がる埃の中、夜から予想されている大雨の前にと、被災者の皆さんが必死に作業されていました。街のあちこちで地元本宮高校の生徒たちがボランティア活動に参加している姿が目にとまりましたが、まだまだ見通しは立っていない様子でした。



(次ページに続く)

- c o n t e n t s -

- P1 台風19号
- P2 台風19号（続き）／募金のお願い
- P3 Vision117／西日本豪雨災害支援活動／佐用町訪問
- P4 被災地での子ども支援事業
- P5 防災授業／災害ボランティア養成講座／防災イベント／生協まつり
- P6 防災チャレンジキャンプ／子ども防災クラブ／高木秋まつり／25周年事業のお知らせ
- P7 Nうごき／Nごよみ
- P8 会員・寄付者・募金者のみなさま／カレンダー市開催のお知らせ／編集後記

◆**支援活動【福島県郡山市】**10月19日、郡山市内で活動。雨のため、福島県下のほとんどのボランティアセンターの活動は中止となり、J-NETメンバーでもあるNPO法人ハートネットふくしまさんとともに郡山市内の被災箇所をまわり、各地区の集会所やボランティア受付箇所に救援物資のマスクや手指消毒剤、軍手などを届けました。郡山市内も、複数箇所で堤防が決壊したため浸水した地域が散在しており、街の至るところに災害廃棄物が山積みとなっていました。10月20日、郡山市中田地区で家屋の土砂かき出し作業に参加。泥水より土砂はさらに重く、まして1日や2日で片付く量ではなく、重機を使った作業が求められる規模の被害でした。



◆**先遣隊第三報【岩手県野田村】**10月19～20日

東日本大震災以来支援を続ける岩手県野田村にも被害が及んでいる、ということで現地に向かいました。村の中心部を流れる宇部川が氾濫し、13日午前2時前に初の大雨特別警報が発令され、野田小中学校や国民宿舎えぼし荘などの避難所に200人以上の村民が避難したとのこと。通常のボランティアセンター内で災害ボランティアを募集し、野田村社協では20日は近隣からのボランティア約100人を受け入れ、被害家屋周辺の土砂のかき出しなどが行われました。センターでは今後もニーズに対応していくとのこと。

◆**支援活動【長野市】**10月21日～22日、再度長野市を訪問しました。千曲川の決壊現場に近い赤沼地区にある2階建てのお宅の、1階部分の床板をはがす作業をお手伝いしました。翌日の作業内容を確認した後、もう1軒依頼のあった津野地区にある寺院を目指しました。しかし、浸水により道路状況が相当悪くその日は訪問を断念し、資機材の返却作業をお手伝いしました。

翌22日は、昨日訪問した赤沼地区のお宅と津野地区の正覚寺に向かいました。まず泥かき作業をし、途中水に浸かったアルバムが10冊ほど出てきたので、タオルで写真の水分をふき取るという応急処置をさせていただくことになりました。持ち主の方にとっても喜んでいただきました。次に赤沼のお宅で、滋賀のメンバーと一緒に床下の泥出し作業を行いました。2時間ほど作業を行ったところで我々は帰路に着きましたが、残って作業を継続していた滋賀のメンバーは『ダムの緊急放流による河川の氾濫警戒情』という緊急メールが入り、すぐに作業を終えて高台に車で避難したとのこと。被災地では、被災者もボランティアも安全第一で活動を行うことがとても大事だと改めて思いました。

正覚寺のある津野地区は、テレビの映像でもよく映っていた千曲川の決壊現場に近く、今回一番浸水被害の影響が出ている地域だと思われます。東日本大震災での津波被害を彷彿とさせる倒壊家屋もたくさんあり、中には100メートル以上流された家屋もありました。

支援活動は11月以降も続きます。



【募金受付口座】

被災地での支援活動資金となります。ご協力よろしくお願いたします。

●**ゆうちょ銀行** (郵便振替)

口座番号 00900-5-29560
名義 NVNAD国内支援口
*通信欄に「台風19号」とご記入下さい。

●**三井住友銀行** 西宮支店

普通口座 7022161
名義 NVNAD国内支援口

●**近畿労働金庫** 西宮支店

普通口座 8591699
名義 特定非営利活動法人
日本災害救援ボランティアネットワーク

当団体は認定NPO法人ですので、税制優遇を受けることができます。

1月中旬～下旬に寄附金受領証明書を送付させていただきます。

銀行振込ではカタカナ名しか把握できませんので、お手数ですが住所と連絡先をお知らせ下さい。
TEL 0798(34)9011 FAX 0798(34)9022 e-mail:nishinomiya@nvnad.or.jp

Vision 117

全国各地で災害が頻発しております。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。NVNADでは、ご縁のあった地域で救援活動をさせていただいております。具体的には、協定を結んでおります大阪大学大学院人間科学研究科の教員の地元長野県須坂市と長野市、そして、東日本大震災以来、交流を続けてきました岩手県野田村と福島県郡山市で、他の団体の皆さまと協力しながらお手伝いをさせていただいております（詳細は、このニュースやブログ記事をご覧ください）。今回の一連の災害でも、以前このコーナーで指摘した問題が見られました。例えば、災害ボランティア活動では、秩序だった活動が強調され、様々な参加条件などが示されました。確かに、ボランティアの都合だけで現地を訪れるのはいかがなものかと思えます。しかし、現地の情報を詳細に調べて、参加条件を満たすかどうかを確かめて、条件にかなう災害ボランティアセンターに行き、そこで指示された活動に従事するというのは、かえって“災害ボランティアって何か専門的で難しそう”という風に思われてしまうのではないかと感じました。とにかく現地に行き何かお手伝い

をしたい、ただ傍にいてもいい、そんな気持ちで参加できるようなプログラムをNVNADでは準備していきたいと思えます。

さて、このコーナーでは、阪神・淡路大震災から25年を前に、NVNADから見た災害ボランティアに関する諸問題を救援、復興、防災に分けてお伝えしてきました。今回は、防災の順番でしたが、次回への持ち越しとなります。ただ、次号までに一緒に考えて頂きたいことがあります。昨年の西日本豪雨災害の被災地岡山県倉敷市真備町では、犠牲になられた方々の80%以上が避難時に援助を必要とする高齢者や障害者だったという衝撃的な事実がありました。今回、全国各地の被災地の様子をご覧になって、高齢者はどうやって避難されたんでしょう？障害者？子どもは？外国人？生活に困っておられた方々は？・・・想像してみてください。避難所は、様々な住民を受け入れられたのでしょうか？避難所に多機能なトイレはあるのでしょうか？もはやいつどこでどんな災害が起こってもおかしくないと感じる毎日です。多様な人々の意見をしっかりと聴きながら日頃から助け合う、そして、災害時には「ああ、助かった」と言える地域を作っていく。NVNADではこうした基本的なことに取り組みたいと考えています。次回整理したいと思えます。どうか引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(理事長 渥美 公秀)

西日本豪雨災害支援活動

9月16日(月・祝)と10月20日(日)に、岡山県倉敷市真備町を訪問してきました。仮設団地の集会所をお借りして、グリーンコープ岡山さん主催の炊き出しのお手伝いや、大阪大学の稲場研究室企画の手芸をお手伝いさせていただきました。仮設住宅の皆様が毎回とても喜んでくださり、こちらもうれしく思います。ただ、入居者がだんだん少なくなっているため、残っている方々のことがとても気になっています。不定期にはなりますが、これからも訪問していければと考えています。



佐用町訪問

9月28日(土)と10月27日(日)に、兵庫県佐用町に行き来しました。9月はチャコネットの学生さんたちと竹炭焼き用の竹を切る作業のお手伝いをさせていただきました。10cm以上の太さのある竹をノコギリで切るのは結構大変な作業でした。10月はチャコネットの学生さんたちの企画で『ぼう災学校』を開催してくれました。事前に役場や消防、警察などとも何度も打合せを重ね、水害のことを中心に防災クイズタイムや、参加者との交流カフェなどのプログラムを実施してくれました。10年前の佐用町の水害がきっかけで全国的に広がった「垂直避難」ですが、その時の教訓を忘れず、これからも住民の皆さんに寄り添いながら活動を行なっていければと思います。



被災地での子ども支援事業

NVNAD理事 米山清美

<東日本大震災>

発災から9年目となりますが、今も岩手県野田村とは交流を続けています。震災翌年度から始まった子どもたちの相互交流も続いていて、今年も8月23日～26日まで野田祭りのサポートや出前プレーパークに、兵庫県西宮市の中高生と行ってきました。

野田祭りでは地区の子ども御輿を担ぎます。子ども御輿とはいえ重たく中学生中心に担ぎますが、その担ぎ手を頼まれ公募した西宮の子どもたちでサポートしました。これは阪神大震災の時、地域の祭りを5年後に再開した時に大変だった経験があり、野田村では震災後も祭りを続けてほしいとの思いがありました。

出前プレーパークは震災の年の夏休みから実施しています。阪神大震災がきっかけの西宮の遊び場づくりですが、野田小学校の当時の先生からの依頼もあって、出前が始まりました。今年は村の津波避難ビル「保健センター」で、社協ボランティアセンター共催の居場所作り事業の一環として実施しました。この相互交流、来年1月には野田中学校の生徒たちがこぞって復興太鼓を叩きに来てくれる予定です。



<熊本地震>

発災直後から益城町に入ったNVNADですが、仮設住宅や小学校校庭などでの出前プレーパークや、西宮市の中学校や子育て支援団体からの支援を繋ぎできました。今年8月にテクノ仮設団地で毎週末開催されている「おひさまカフェ」を訪ねました。熊本学園大学の学生たちが運営していますが、同大学とは福祉避難所を学内で運営していた頃から関わり、その後益城町内での避難所を経て、益城町最大のテクノ仮設団地で毎週土日にカフェを開催。住民が半分以下になった今も実施しています。久々に訪れましたが、お年寄りや子どもたちが和気あいあいと談笑する、いつもの光景がありました。



<九州北部豪雨>

発災後10日余りで訪れた朝倉市で、災害前から朝倉にプレーパークを作りたいと活動していた保護者たちと出会いました。災害後毎月1回の遊び場を開催し、被害の大きかった杷木地区の子どもたちも思いっきり遊べるようなサポートをしていて、8月に訪れた時も子どもたちが楽しそうに遊んでいました。この災害では、今も主要道路が通行止めとなっている山間部の高木地区で活動を続ける団体があり、お年寄りが多くなった同地区ではゴミ出しなど日々の生活も滞ることがあるそうです。

また、支援を続けている大分県日田市の保育園園長にも会いました。川沿いに建つ同園は九州北部豪雨災害で被災しましたが、同じ敷地に再建。災害後過疎化に拍車がかかった地域のため、園児とお年寄りたちとの交流を進めています。



<西日本豪雨>

昨年のこの豪雨災害では真備町に入るとともに、冠水被害にあった隣の矢掛町中川保育園も支援をしてきました。

今年8月はじめ兵庫県立西宮香風高校のボランティア活動に同行しました。真備町の高校との交流会の後、地域の方の案内で川の決壊現場の見学をし、何故真備町が被害甚大だったか等説明を受けました。矢掛町立中川保育園では準備してきたペープサートなどを園児に披露したり、隣の中川小学校学童クラブのお手伝いをしました。

このボランティアで高校生たちは様々なことを学んだのではないのでしょうか。

次々と発生する災害に過去の災害は忘れられがちですが、いずれの被災地もまだまだ大変で、支援を必要としているところもあります。そのことを覚えておいていただけると幸いです。



防災授業 ～前山小学校～

9月6日(金)、今年も兵庫県丹波市立前山小学校にて、防災授業を担当させていただきました。大阪大学災害ボランティアサークル「すずらん」のメンバーが中心となり、低学年には『ぼうさいダック』を、中学年には『防災クイズ』を、高学年には『防災クイズ「クロスロード」』をそれぞれ実施しました。今年で5年目ということもあり、子どもたちにも防災意識が高まってきているように感じています。また、そのあと9月27日にも、丹波市立竹田小学校で同じ形式で実施させていただきました。学校とつないでくださっています地元の北村様に改めて感謝申し上げます。あの土砂災害から5年を迎え、次なる災害に備えるためにこれからも防災教育に携わっていかねばと考えています。



災害ボランティア養成講座

9月19日(木)関西学院大学にて、大学内のヒューマンサービス支援室主催の災害ボランティア養成講座が開催され、西宮市社会福祉協議会協同と当団体でプログラムの企画と当日の運営を担当させていただきました。

午前中はクロスロードや座談会、昼食は非常食の体験試食、午後からは実際に災害が発生した場合の避難についてグループで話し合い、最後は、今後の抱負について一人ずつ発表していただきました。学生さんたちには、被災地にボランティアに行くだけではなく、もし地元で災害があった場合には、災害ボランティアセンターの運営にもご協力いただければと願っています。また9月21日(土)には、西

宮市社会福祉協議会と共催で市民向けの災害ボランティア養成講座を開催させていただきました。

《防災イベント》 住宅展示場 in 西宮

9月22日(日)西宮市内の住宅展示場にて、防災イベントを行いました。10:00～17:00の間、約50組の親子連れに防災クイズラリーと消火体験を楽しんでいただきました。初めての試みで戸惑った部分もありますが、趣向を凝らすための良い経験となりました。ご参加下さいました皆さま、企画を依頼して下さったイベント会社さまにお礼申し上げます。



生協まつり

ぼうさいダックのカード →



9月15日(日)、大阪の鶴見緑地公園にて生協まつりが開催されました。今年も昨年に引き続き、近畿ろうきんのブースで「ぼうさいダック」を大阪大学災害ボランティアサークル「すずらん」と共同で担当させていただきました。地震や津波、水害や火災などが発生した時にどのようなポーズや行動をとればいいのか、災害のイラストが描かれたカードを見て考えてもらいました。幼児から大人まで約70名が参加してくださり、防災意識の啓発になったのではないかと思います。近畿ろうきん様、生協様、貴重な機会をいただきありがとうございました。



防災チャレンジキャンプ

8月7日(水)、子ども防災クラブのキャンプ交流会を行いました。昨年、今までの1泊2日からデイキャンプへと形を変え、行き先も西宮市の甲山キャンプ場に変更しました。今年も天候に恵まれ、グループ対抗のカレーづくりや防災クイズラリー、川遊びなどを満喫し、緑いっぱいの自然の中で楽しいひとときを過ごすことができました。

協力することの大切さや思いやりなど、たくさんのことを学んでくれたことと思います。ご協力くださった学生リーダーの皆さん、一般ボランティアさん、どうもありがとうございました。



子ども 防災クラブ



10月19日(土)、高木小学校にて第3回子ども防災クラブの活動を行いました。この度は、障がいを持った方のために考案されたスポーツでパラリンピックの正式種目でもある『ボッチャ』に挑戦しました。1巡目は普通に対抗戦をし、2巡目はアイマスクを着用し、目の不自由な方がどのように競技をするのかを体験しました。ジャックボールとよばれる的のボールを狙うため、チームの仲間が声や音で距離や方向を知らせます。見えている時には簡単に投げられた一球がなかなか手から離れず、子ども達には貴重な体験になったようです。

その後、地震を想定し、目の不自由な方が避難所にたどりつくまでの問題点をチームごとに話し合ってもらいました。困っている人がいたら、勇気をもって声掛けをしよう！とみんなの意見がまとまりました。西宮市社会福祉協議会の辻井さま、多大なご協力をいただきありがとうございました。



高木秋まつり



10月13日(日)、西宮市の高木公園にて高木秋まつりが開催されました。当団体の模擬店『魚釣り』は、小さいお子さまが楽しめることはもちろん、小学校高学年にもなると点数が高い魚を狙ったり、より多くの魚を確保しようと結構夢中になってくれます。見守る保護者さんもそれぞれで、色んな人間模様が垣間見られる貴重なイベントでもあります。今回も盛況のうちに終えることができました。高木地区の皆さま、景品提供にご協力下さった(株)フェリシモさま、どうもありがとうございました。



～団体設立25周年事業のお知らせ～

2020年1月17日、阪神・淡路大震災より25年、そして2月1日はNVNADの設立より25周年を迎えます。

これまでご支援いただきました方々に感謝の気持ちを込め、記念事業を開催することになりました。

震災からの25年間を振り返りつつ、今後の災害への備えの為に役立つ内容となっております。

当団体を支えてくださっている皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。

記

日時：2020年2月1日(土)13:30～16:30 会場：西宮市役所東館8階大ホール

内容：①震災25年間を振り返る ②パネルディスカッション ③交流会 参加費：2,000円

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。



- | | | |
|-----|--------|------------------------------|
| 8月 | 2日 | ボランティアセンターマニュアル研修会 (西宮市) |
| | 5日 | 近畿ろうきん講座 (兵庫県尼崎市) |
| | 5~6日 | 西日本豪雨災害支援活動 (岡山県真備町) |
| | 7日 | 防災チャレンジキャンプ (西宮市) |
| | 16~18日 | 九州北部豪雨災害支援活動 (福岡県朝倉市・熊本県益城町) |
| | 23~26日 | 野田村訪問 (岩手県) |
| | 17日 | ニュースVol.120発行 |
| | 28日 | 近畿地区生協・行政合同会議 (奈良市) |
| | 30日 | 防災講演会 (大阪府八尾市) |
| | 9月 | 6日 |
| 8日 | | 野田村ファンクラブのつどい (大阪市) |
| 11日 | | 近畿ろうきん講座 (神戸市) |
| 15日 | | 生協まつり (大阪市) |
| 19日 | | 災害ボランティア養成講座 (西宮市) |
| 21日 | | 災害ボランティア養成講座 (西宮市) |
| 22日 | | 防災イベント (西宮市) |
| 27日 | | 竹田小学校防災授業 (兵庫県) |
| 10月 | 13日 | 高木秋祭り (西宮市) |
| | 13~14日 | 台風19号先遣隊派遣 (静岡県) |
| | 16日 | 災害ボランティアセンター設置運営訓練 (西宮市) |
| | 16~17日 | 台風19号先遣隊派遣 (長野県長野市) |
| | 18~19日 | 台風19号支援活動 (福島県本宮市・郡山市) |
| | 19日 | 第3回子ども防災クラブ (西宮市) |
| | 21~22日 | 台風19号先遣隊派遣 (岩手県野田村) |
| | 31日 | 近畿ろうきん講座 (宇治市) |



Nごよみ

11月以降の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|-----|--------|---------------------------------|
| 11月 | 2~4日 | 台風19号支援活動 (長野県長野市) |
| | 17日 | 防災ふれあいウォーク (西宮市) |
| | | ニュースVol.121発行 |
| | 30日 | 宮っ子ウォーキング (西宮市) |
| 12月 | 1日 | 災害ボランティア養成講座 (大阪府岬町) |
| | 9日 | 第16回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール審査会 (東京都) |
| | 10日 | 災害ボランティア養成講座 (八尾市) |
| | 18日 | 災害ボランティア養成講座 (大阪府能勢町) |
| 1月 | 10~12日 | 第24回チャリティーカレンダー市 (西宮市) |
| | 17日 | 1.17行事 (西宮市) |
| | 18日 | チャリティーコンサート (西宮市) |
| | 25日 | 第16回小学生ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式 (東京都) |
| | | 第4回子ども防災クラブ (西宮市) |



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2019年8月1日～10月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」米山大吾

個人賛助会員：「新規」泰井妙子、マツザキタケオ、武智美和

「継続」生田正枝

■寄付者のみなさま

渥美久栄、フルツカスミエ、梶昌代、鶴田美紀代、渡邊祐子、木下和寛、
近畿労金NPO寄附システム契約者の皆様、ソフトバンクかざして募金の皆様
社団法人ウルノス(モノキフ)

■募金者のみなさま

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「西日本豪雨災害」星野典子

「台風19号」イバラキヒロミ、西村俊、西村嘉子、西村桂子、星野典子、中谷陽子
キタムラヨシコ、田中稔昭、永尾文子、山口恵子、フルツカスミエ、平松伸治
藤田直生、武智美和、ハツ塚としえ、オクヨシコ、両国哲夫、吉岡洋子
西澤裕美、坂東由佳恵、戸口始、戸口裕子、戸口京子、まちづくりスポット神戸

■ご協力いただいたみなさま 株式会社高山堂、株式会社フェリシモ

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

2020年 恒例のチャリティーカレンダー市開催のお知らせ

開催日 2020年1月10日(金)・11日(土)・12日(日)の3日間

10:00～18:00 (最終日の12日は14:00まで)

会場 西宮市役所東館8階大ホール

ホームページにて、詳細を掲載しております。ぜひご覧ください。

NVNAD

検索

カレンダー市2020

「カレンダー市の趣旨」

皆様から頂いたカレンダーを販売する好評のチャリティーバザーです。

売上金は、災害（東日本大災害、西日本豪雨災害、台風19号を含む今後の災害）に対する
支援活動の直接費・間接費の費用として使用させていただきます。

編集後記

台風19号の影響より、河川の氾濫や土砂崩れなどで甚大な被害が各地に発生しました。
大きな河川の決壊や氾濫だけではなく、その支流の河川でも決壊や氾濫が多数起こりました。また、
洪水ハザードマップに掲載されていなかった地域での浸水もあり、これまでの常識が通用しなくなっ
てきているのではないかと思います。H.T

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀